

製品名: CA II ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07764**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	29kDa

抗原情報

遺伝子名	CA2
別名	CA2; Carbonic anhydrase 2; Carbonate dehydratase II; Carbonic anhydrase C; CAC; Carbonic anhydrase II; CA-II
遺伝子 ID	760.0
SwissProt ID	P00918
免疫原	抗血清はヒト CA II 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 180-229

背景

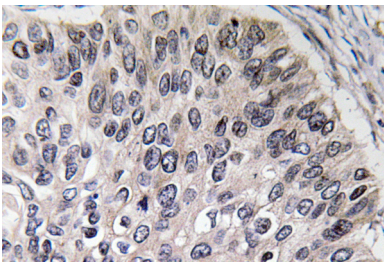
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、二酸化炭素の可逆的な水和を触媒する炭酸脱水酵素のアイソザイムの一つです。こ

の酵素の欠損は大理石骨病および腎尿細管性アシドーシスと関連しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2014年6月]、触媒活性: $\text{H}_2\text{CO}_3 = \text{CO}_2 + \text{H}_2\text{O}$ 、補因子: 亜鉛、疾患: CA2の欠損は、常染色体劣性大理石骨病3型 (OPTB3) [MIM:259730]の原因です。腎尿細管性アシドーシスを伴う大理石骨病、炭酸脱水酵素II欠損症候群、ギボー・ヴァンセル症候群、または大理石脳症としても知られています。大理石骨病は、未熟な骨の吸収不全により、異常に骨密度が高くなる稀な遺伝性疾患です。この疾患は、子宮内、乳児期、または小児期に発症する重度の常染色体劣性遺伝型と、青年期または成人期に発症する良性の常染色体優性遺伝型の2つの形態に分けられます。常染色体劣性遺伝型大理石骨病は、通常、機能不全の破骨細胞数が正常または増加していることを伴います。OPTB3は、腎尿細管性アシドーシス、脳石灰化 (大理石脳症) と関連しており、場合によっては精神遅滞を伴うこともあります。機能: 骨吸収と破骨細胞分化に必須 (類似性による)。二酸化炭素の可逆的な水和。類似性: α -炭酸脱水酵素ファミリーに属する。サブユニット: SLC4A4 と相互作用する。SLC4A7 との相互作用は、SLC4A7 トランスポーターの活性を制御する。

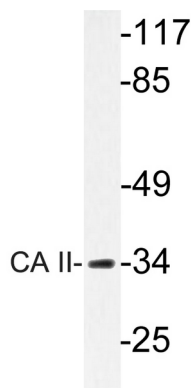
研究分野

窒素代謝;

画像データ



パラフィン包埋ヒト肺癌組織における CA II 抗体の免疫組織化学分析。



CA II 抗体を使用したラット心臓細胞溶解物のウエスタンブロット分析。

CA II 抗体を用いたマウス腎臓およびマウス脳 293T hela 溶解物のウェスタンブロット解析。抗体は 1:2000 に希釈した。

